



飛鳥資料館平成29年度・春期特別展
藤原京を掘る
 藤原京一等地
 の調査

平成29年4月28日(金)～7月2日(日)・月曜日休館
 開館時間・午前9時～午後4時30分・入館は午後4時まで
 主催 ■ 独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所飛鳥資料館
 後援 ■ 文化庁・近畿日本鉄道株式会社

奈良文化財研究所
 飛鳥資料館
 〒747-0292 奈良県高市郡明日香村長山60-1 電話0744-540301
 DESIGN BY RIKUITA PHOTO BY TINOUE MUKUNYAMA

藤原京左京入兼三坊出土土器山墨書土器



藤原京を掘る

— 藤原京一等地の調査 —



奈良時代の土器

今回の展覧会では、奈良文化財研究所がおこなってきた藤原京の発掘調査のうち、左京六条三坊の調査研究成果を展示します。

この場所は、藤原宮の東に隣接する京内の一等地であり、大和三山のひとつで、古代より多くの和歌にも詠まれた香具山の西北麓に位置しています。現在は、奈良文化財研究所 都城発掘調査部（飛鳥・藤原地区）の庁舎が建っていますが、藤原京では、左京六条三坊の地にあたります。

発掘調査は1985年から1987年にかけておこなわれ、古墳時代から中世までの遺構を数多く確認しました。なかでも特筆すべきは、コの字形に配置されたとみられる藤原京期の建物群で、四町を占める大規模な施設があることが判明しました。この大規模施設は、当初はみやこの民政を司った「京職」であり、その後「左京職」に変わったと考えられます。

また、調査では「香山」と墨書されたものを含む奈良時代の土器が多量に出土しており、平城京遷都後にも活発な土地利用がなされていたことがわかりました。

本展を通じ、藤原京の一等地における官衙の様相や土地利用のあり方、当時の人々の生活のようすなどを知っていただければ幸いです。

●開館時間

午前9時～午後4時30分・
入館は午後4時まで

●入館料

一般 個人270円 団体170円
大学生 個人130円 団体60円
高校生及び18歳未満、
65歳以上(年齢のわかるものが必要)は無料

●交通

近鉄橿原神宮前駅・飛鳥駅から
かめバス(周遊)「飛鳥資料館」下車
または近鉄・JR桜井駅から
石舞台行きバスで「飛鳥資料館」下車

●講演会

日時：平成29年6月10日(土)
午後1時30分～
会場：飛鳥資料館講堂
講師：市 大樹氏
(大阪大学大学院 准教授)
演題：「藤原京の役所を探る」

●ギャラリートーク

5月19日(金) 午前10時～、
午後1時30分～

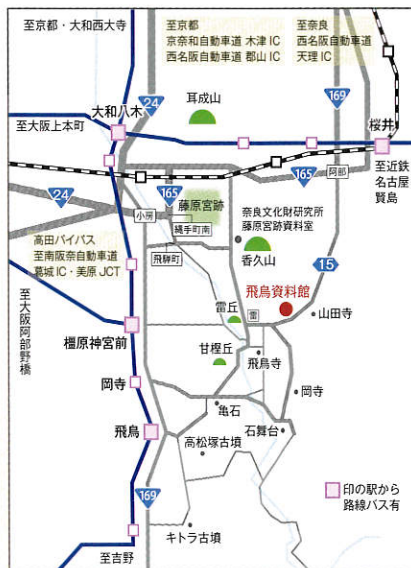


緑釉獸脚硯



井戸から出土した銭貨

●周辺地図



発掘調査区遠景

奈良文化財研究所 **飛鳥資料館**

〒634-0102 奈良県高市郡明日香村奥山601
Tel: 0744-54-3561 Fax: 0744-54-3563
http://www.nabunken.go.jp/asuka/

